

令和4年度学校魅力化フォーラム 事例発表

学園制加配の活用による3小学校合同授業と 公設塾mineto

令和4年8月26日

山口県美祢市教育委員会

山口県美祢市の紹介

山口県西部の中山間地域

人口 22,572人 (R4.3.31現在)

面積 約473km²



秋吉台



秋芳洞



弁天池

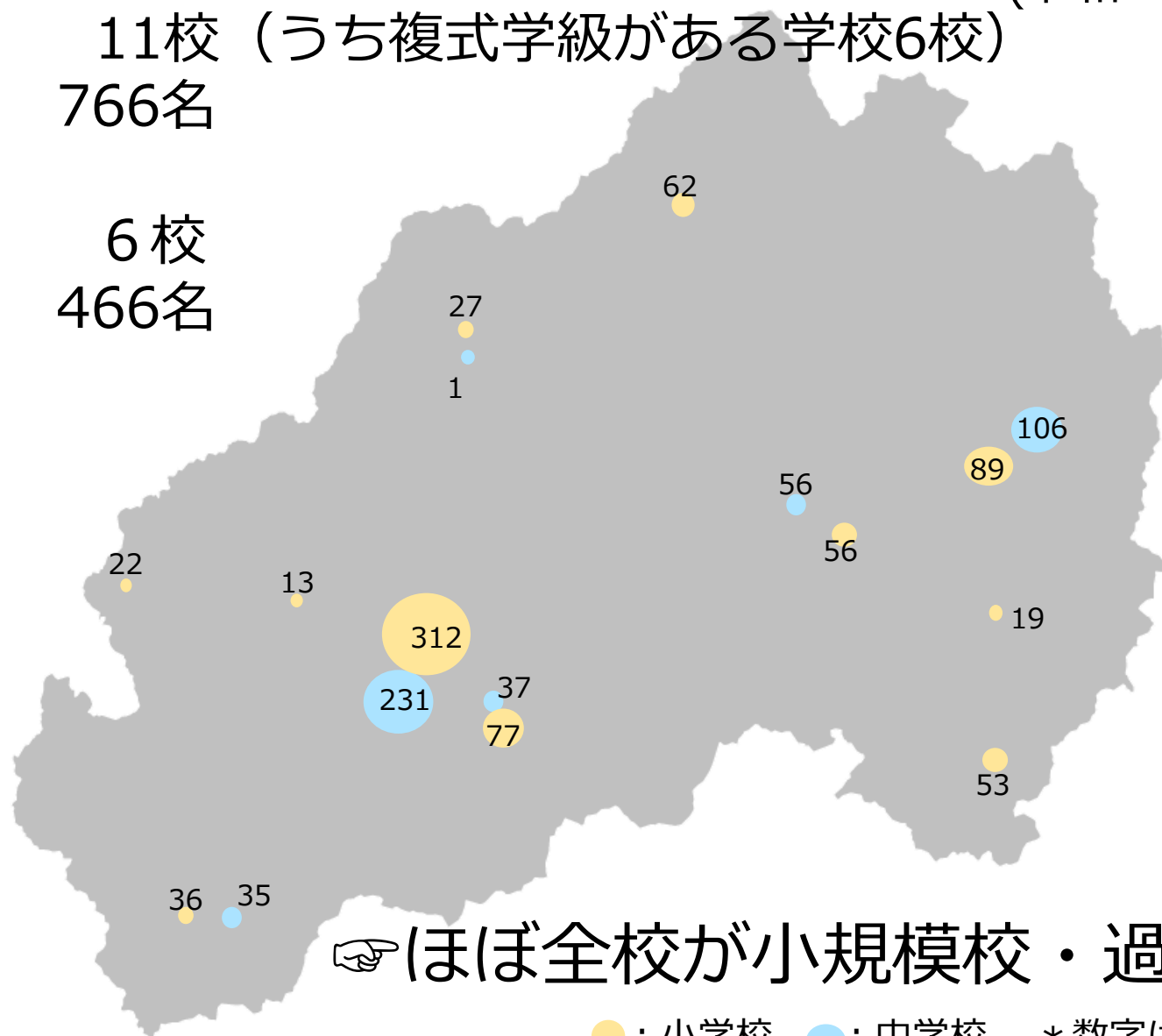


美祿市の小中学校の状況

(令和4年5月1日現在)

小学校 11校 (うち複式学級がある学校6校)
児童数 766名

中学校 6校
生徒数 466名



☞ ほぼ全校が小規模校・過小規模校

● : 小学校 ● : 中学校 * 数字は児童生徒数

① 学園制加配の活用による 3 小学校合同授業

1. 学園制加配とは？
2. 美東中学校区の概要
3. 取組概要
4. 学園制加配の活用による成果と課題



中学校英語科教員による
3小学校合同授業（6年）
の様子

子供が切磋琢磨できる学習環境を整備するとともに、 小学校高学年において専科指導に積極的に取り組む学校への支援(①)

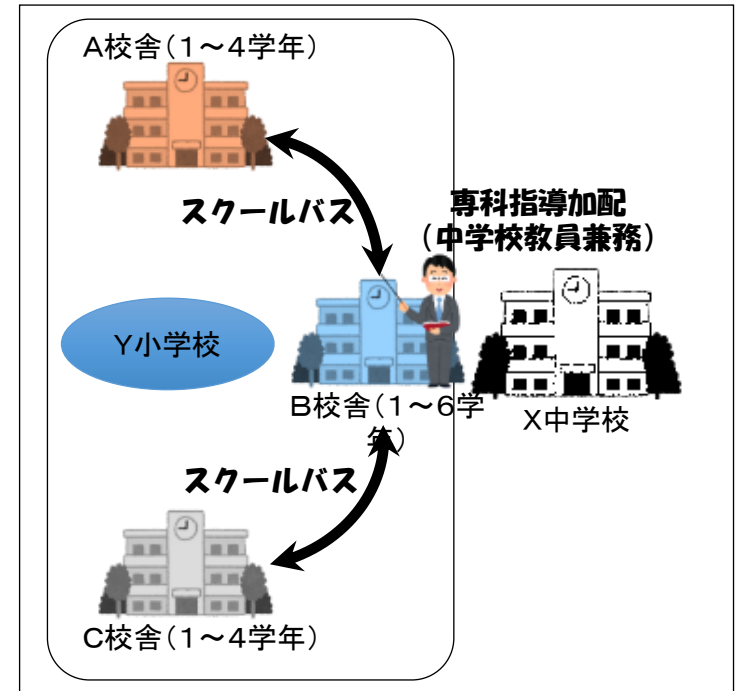
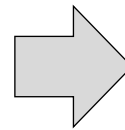
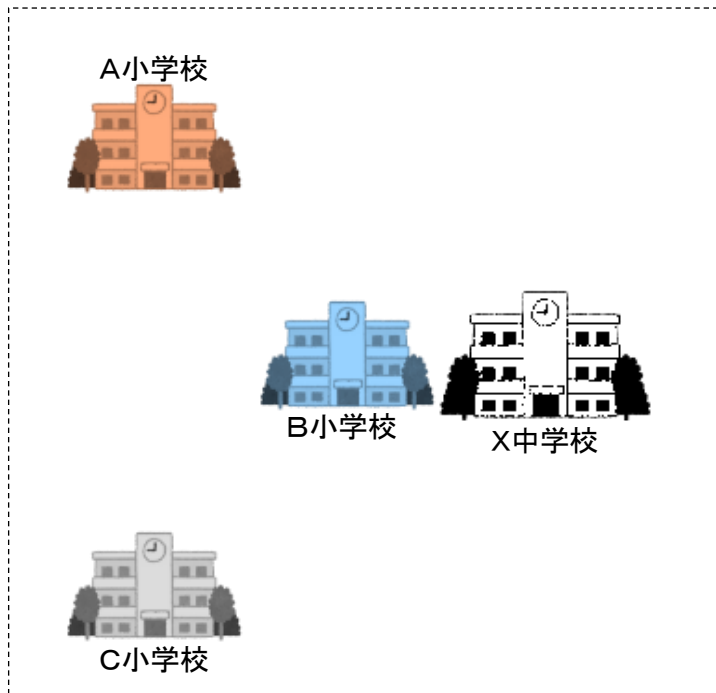
該当する学校群の要件

- 教育委員会規則や教育委員会が定める要綱等において、2以上の小学校及び1以上の中学校を含む学校群（以下「学園」という。）で、学園運営を行うこととしていること。
- 要綱等においては、小学校高学年における専科指導を含む義務教育9年間を通じた教育活動を一体的に行うことが明記されていること。
- なお、上記の要件を満たしていれば、学校統廃合を行う取組や、義務教育学校を設置する取組も対象とすることができる。

支援内容（加配、スクールバス購入費又は運行委託費の補助）

- <加配> 小学校高学年の専科指導に積極的に取り組む場合に、専科指導加配を措置。
- <スクールバス> 学園運営をする際に、必要に応じて、学校間の移動に必要なスクールバスの運行委託費を「へき地児童生徒援助費等補助金（補助率1/2）」により補助。

【例1】中学校区を単位とした学校群で運営する例



① 学園制加配の活用による3小学校合同授業

2. 美東中学校区の概要

○美東中学校 106人5学級（通常4,特支1）

●大田小学校 89人9学級（通常6,特支3）

●綾木小学校 19人3学級（完全複式）

●淳美小学校 53人6学級（通常5,特支1）

（令和4年5月1日現在）

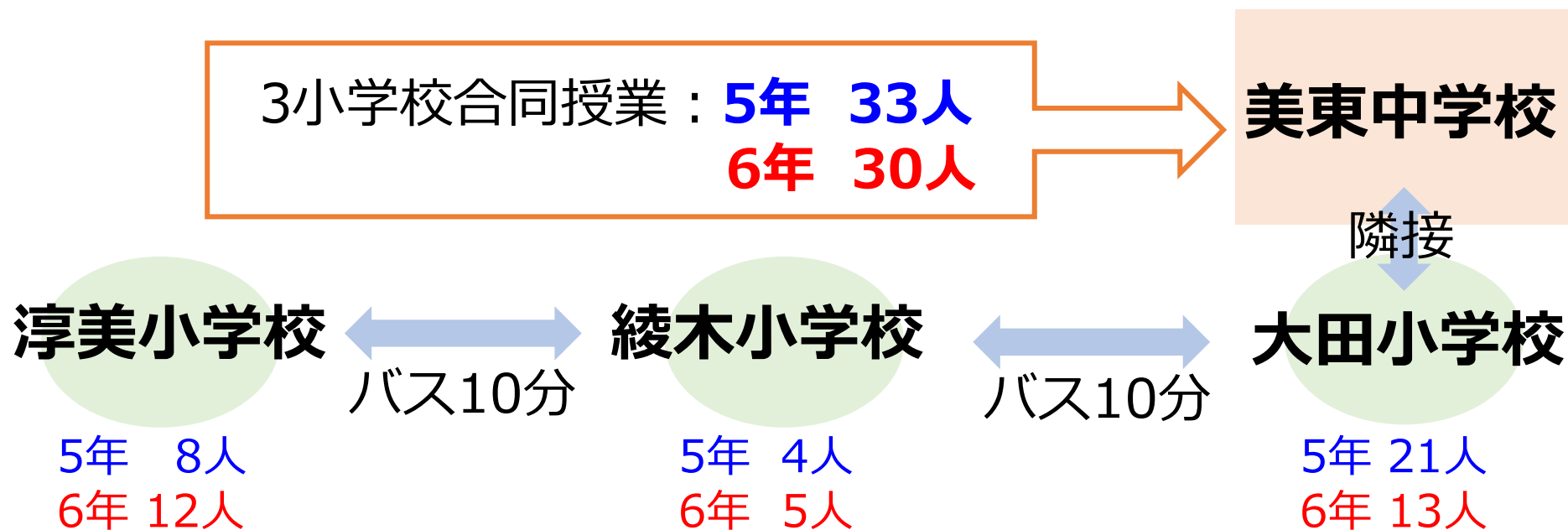
⇒ 令和3年度から小中一貫教育開始

① 学園制加配の活用による3小学校合同授業

3. 取組概要

R3：週1回6年生が美東中に集まり、
美東中教員による外国語授業（2H）【2学期～】

R4：週1回5・6年生が美東中（大田小）に集まり、
美東中教員による外国語授業（2H）と
小学校教員による合同授業（2H）（計4H）



① 学園制加配の活用による3小学校合同授業

4. 学園制加配の成果と課題

【成果】

- 中学校英語科教員による専門性の高い外国語授業の受講
- 3小学校の児童間の人間関係づくりや切磋琢磨した教育活動の推進
- 3小学校の合同授業による授業力向上
- 小中教員間の交流機会の確保
- 中学校教員の児童理解（学力・特性など）

① 学園制加配の活用による3小学校合同授業

4. 学園制加配の成果と課題

【課題】

- **加配（中学校教員）の活用が不十分**
（現行：外国語4H → できれば他教科で+4H）
- 3小学校**合同授業の事前計画と実践の負担大**
（今年度は4・5年複式校と5・6年複式校の影響もある）
- 校舎分離型による**移動時間**（最大で30分程度）
- **小中教員間の**交流機会の拡大
（**移動時間の距離感、相互理解の距離感**）
- **児童生徒間の交流**（異学年交流・合同行事の実施など）

②美祢市公設塾mineto（みねと）



1. 美祢市の子供たちの状況
2. 公設塾minetoの概要
3. 公設塾minetoスタッフ
4. 塾生数の推移
5. 授業例
6. 約10か月の事業成果

②美祢市公設塾mineto（みねと）

1. 美祢市の子供たちの状況

- **人間関係が固定化**し、相互の評価も固定化しがち
（クラス替えの経験なく、保育園から中学校まで同じメンバー）
 - 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れる機会がなく、切磋琢磨する環境の中で**意欲や成長が引き出されにくい**
 - 少人数で目が行き届きすぎるため、子供たちの主体性を伸ばすことよりも、**失敗しないように手をかけてしまう傾向**
（子供たちは大人が全てお膳立てしたルールの上を歩くだけ）
- • **素直でおとなしく、大人の言うことをよく聞く「いい子」**
- 学習意欲は低く、家庭学習時間も少ない
 - 学力も県平均と比較して低め

②美祢市公設塾mineto（みねと）

2. 公設塾minetoの概要

受験指導や学力向上を主目的とした塾ではなく、学校と連携し、学校での教育を補完する形で、地域の方々の協力をいただきながら、**子供たちの好奇心**を引き出し、**新しいことに挑戦する力**を育てることで、**自ら考え未来を生き抜く力を育む**塾

対 象：中学生

開塾日時：火～金 16:30～20:00、土 13:30～17:00

内 容：○知のトビラ（個別学習）〈火・木・金〉

◎好奇心のトビラ（興味関心）〈水〉

◎挑戦のトビラ（PBL(問題解決型学習)）〈土〉

②美祢市公設塾mineto（みねと）

- 美祢の子供たちの実態を踏まえると、学力向上のためには、勉強を教えるのではなく、まずは子供たちが学びに向かうモチベーションを育てることが必要
- 子供たちが変化の激しい社会をたくましく生きていくためには、世の中の様々なことに興味を持ち、多様なバックグラウンドを持つ人たちと協働し、未知のことにも失敗を恐れずチャレンジする力が必要
- 子供たちにとって、家でも学校でもない、第三の居場所と一緒に頑張る仲間がいて、講師がいて、安心して学べる場所
- 地域の方と協働する取組を通して、地域の課題を自分事として捉え、地域のために何かしたいと考える人材を育成

②美祢市公設塾mineto（みねと）

3. 公設塾minetoスタッフ



静岡県出身
U-16サッカー日本代表



千葉県出身
フィンランド留学経験



山口県出身
大学進学で上京し帰郷



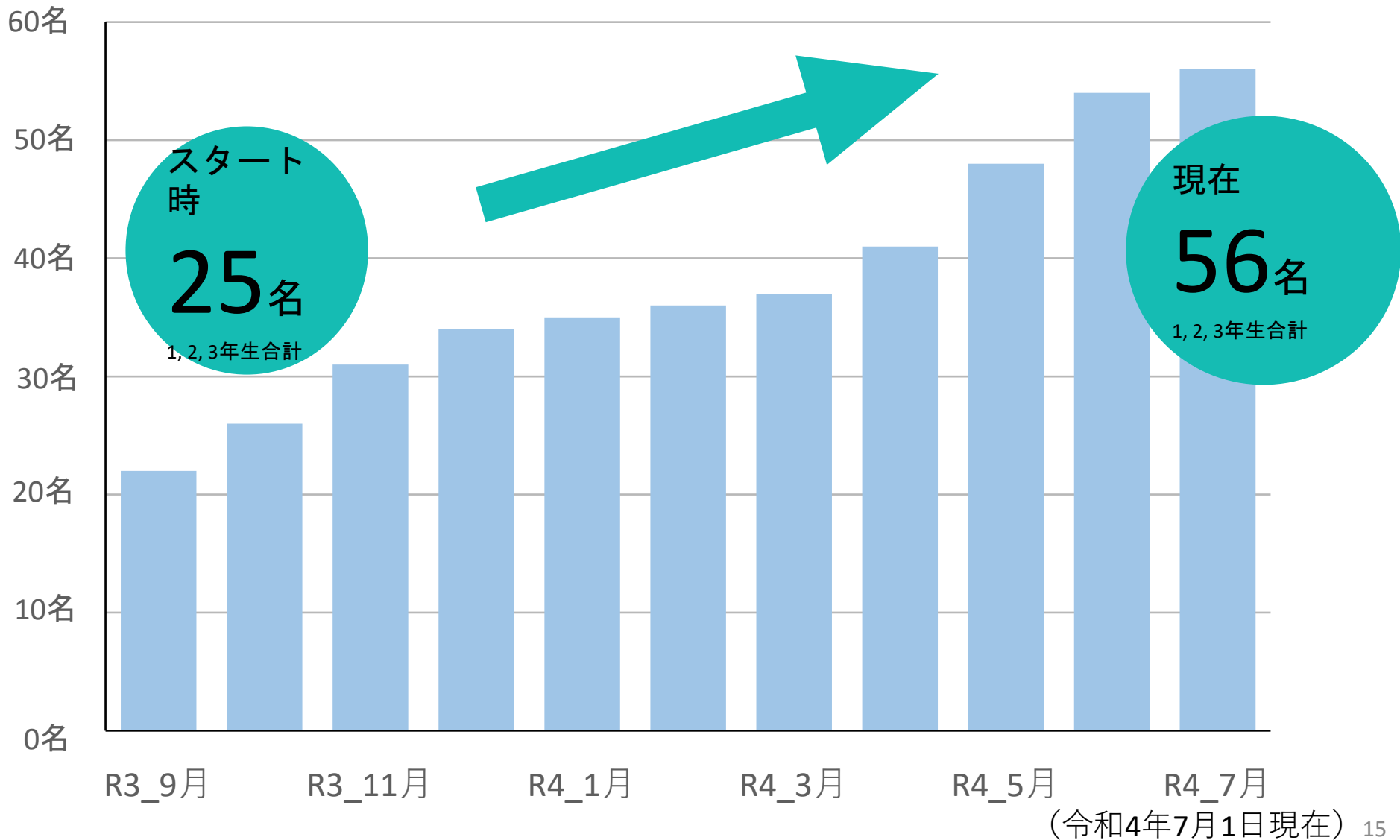
埼玉県出身
元高校理科教諭



- ・ 地域おこし協力隊制度を活用し、市外から若くて元気な人材を講師として任用することで、子供たちに新しい刺激を（「ああいう大人になりたい」というロールモデル）

②美祢市公設塾mineto（みねと）

4. 塾生数の推移



②美祢市公設塾mineto（みねと）

5. 授業例 <挑戦のトビラ> 観光マッププロジェクト

【令和3年10月～令和4年3月】

- ・美祢市の魅力を中学生の目線で掘り起こした観光マップを作成。
- ・市内のお店や宿泊施設などにインタビューを行い、マップに載せる情報を収集し、キャッチコピーを考え、手書きで素材作成
- ・3月に成果発表会で完成したマップを発表



【令和4年4月～7月】

- ・自分たちで作成した観光マップを使い、東京（JALプラザ、おいでませ山口館）と山口（宇部空港）で美祢市の魅力を伝えるプロモーションを実施。

②美祢市公設塾mineto（みねと）

6. 約10か月の事業成果

- ・幼馴染ばかりのコミュニティでの生活から、minetoに通うことで **他の学校や他の学年の生徒と関わり、協働する機会**が増え、自分よりリーダーシップがあったり、勉強ができたりする「すごい」同世代との出会いの機会（**切磋琢磨する環境**）創出
- ・地域の大人へのインタビューなど、**ハードルの高いことへの挑戦**

○子供たちへのアンケート（R3.10～R4.3）

- ・「今の自分は昔の自分より挑戦できていると思うか」
「とてもそう思う」48.1%→63.0%（+14.9%）
「全く思わない」7.4%→0%（▲7.4%）
- ・「相談できる人がいると思うか」
肯定的な回答 74%→92.6%（+18.6%）

挑戦する力

第三の居場所